# Android クイックスタート

このページでは、mobile backendをAndroidアプリを連携させる手順を紹介します

### 目次

- アプリの新規作成
- SDKのダウンロード
- SDKのインストール
- AndroidManifest.xml の編集
- SDKの読み込み
- APIキーの設定とSDKの初期化
- サンプルコードの実装
  - サンプルコード(データストア)
  - 。 アプリを実行してmBaaSのダッシュボードを確認する

### アプリの新規作成

#### mBaaS ダッシュボード

- ニフティクラウドmobile backendにログインします
- ダッシュボードが表示されたら、「アプリの新規作成」を行います
  - すでに別のアプリを作成済みの場合は、ヘッダーの「+新しい アプリ」をクリックします



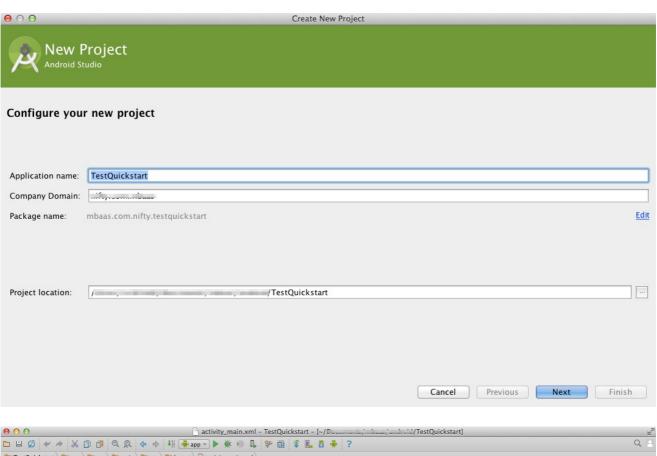
「アプリ名」を入力し「新規作成」をクリックすると、APIキー(ア プリケーションキーとクライアントキー)が発行されます

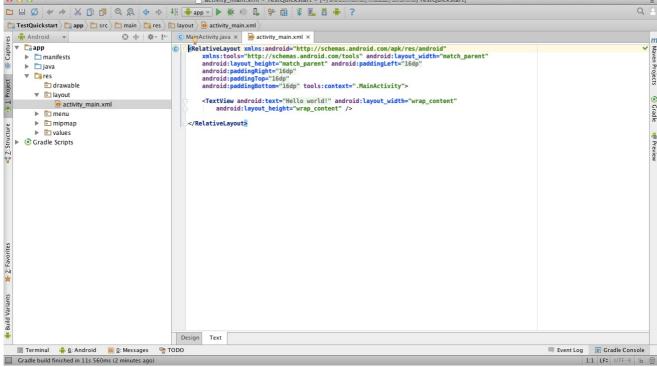


• APIキーは後ほどAndroidアプリで使います



- AndroidStudioでプロジェクトを作成します
  - 既存のプロジェクトを利用する場合はこの作業は不要です





### SDKのダウンロード

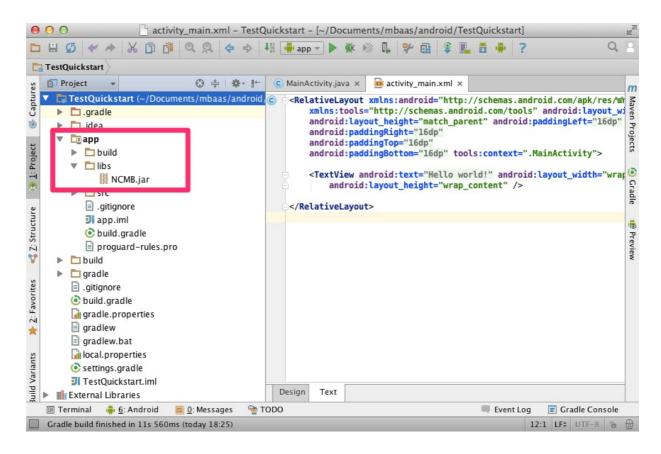
- Githubリリースページの NCMB.x.x.x.zip ボタンからダウンロードしてください
  - 最新版をダウンロードしてください。
  - 。 zipファイルの中身に、NCMB.jarがあります。

#### SDKのインストール

- このSDKでは、以下のライブラリを使用しています。
  - Gson

#### **Android Studio**

- Android Studioでプロジェクトを開き、以下の手順でSDKをインストールしてください
  - app/libsフォルダにNCMB.jar をコピーします



• app/build.gradleファイルに以下を追加します

```
dependencies {
   compile 'com.google.code.gson:gson:2.3.1'
   compile files('libs/NCMB.jar')
}
```

```
000
                                     app - TestQuickstart - [~/Documents/mbaas/android/TestQuickstart]
                                                                                                                                         Q
□ 🖺 💋 🛩 🤌 🐰 🖺 🐧 🔍 🔉 💠 🗣 👫 app ¬ ▶ 🗰 🛞 👢
                                                                               % 때 ¥ L # ?
TestQuickstart app build.gradle
                                                    C MainActivity.java x activity_main.xml x app x
                                   ⊕ + 1
                                                                                                                                             m
   ▼ TestQuickstart (~/Documents/mbaas/android,
                                                        apply plugin: 'com.android.application'
                                                                                                                                             Maven Projects
     ▶ □ .gradle
10
                                                        android {
      ▶ □ .idea
                                                            compileSdkVersion 23
      ▼ 🛅 app

→ 1: Project

                                                            buildToolsVersion "23.0.2"
         build
                                                            defaultConfig {
   applicationId "mbaas.com.nifty.testquickstart"
         ▼ 🛅 libs
               NCMB.jar
                                                                minSdkVersion 15
         ▶ 🗀 src
                                                                targetSdkVersion 23
                                                                versionCode 1
versionName "1.0"
            gitignore .
Z: Structure
            app.iml
            build.gradle
                                                            buildTypes {
            proguard-rules.pro
      ▶ □ build
                                                                    minifyEnabled false
                                                                    proguardFiles getDefaultProguardFile('proguard-android.txt'), 'progu
      ▶ ☐ gradle
* 2: Favorites
         gitignore.
         build.gradle
                                                       }
         a gradle.properties
                                                       dependencies {
         gradlew
                                                            compile fileTree(dir: 'libs', include: ['*.jar'])
         gradlew.bat
                                                            compile 'com.android.support:appcompat-v7:24.0.0-betal'
compile 'com.google.code.gson:gson:2.3.1'
Build Variants
         local.properties
                                                            compile files('libs/NCMB.jar')
         © settings.gradle
         I TestOuickstart.iml
   ▶ <u>III</u> External Libraries
                                                                                                             Event Log
    ■ Terminal ♣ 6: Android
                              0: Messages
                                               ❤ TODO
                                                                                                                           Gradle Console
                                                                                                                        27:2 LF‡ UTF-8‡ 🚡
   Gradle build finished in 11s 560ms (today 18:25)
```

### AndroidManifest.xmlの編集

#### **Android Studio**

● <application>タグの直前に以下のpermissionを追加します

<uses-permission android:name="android.permission.INTERNET" />
<uses-permission android:name="android.permission.ACCESS\_NETWORK\_STATE" />



プロセスが存在しない状態からサービスなどでアプリを起動しAPIリクエストを行うためには、 <application> タグに以下を追加します。

<uses-permission android:name="android.permission.INTERNET" />
<uses-permission android:name="android.permission.ACCESS\_NETWORK\_STATE" />

### SDKの読み込み

#### Android Studio

● MainActivity.javaの冒頭に次のコードを追記して、インストールした SDKを読み込みます

import com.nifty.cloud.mb.core.NCMB;

### APIキーの設定とSDKの初期化

#### **Android Studio**

- ニフティクラウド mobile backendのアプリケーションキーとクライアントキーを利用して、NCMBクラスのinitializeメソッドでAndroid SDKの初期化を行います
- アプリ起動時に表示するアクティビティのonCreateメソッドに下記 の内容を追記します

NCMB.initialize(this.getApplicationContext(), "APP\_KEY", "CLIENT\_KEY");



- 上の「APP\_KEY」と「CLIENT\_KEY」は、mBaaSのダッシュボードで「アプリの新規作成」を行ったときに発行されたAPIキーに置き換えます
  - 。 アプリ作成時のAPIキー発行画面を閉じてしまった場合は、「アプリ設定」 > 「基本」で確認できます。
  - 「コピー」ボタンを使用してコピーしてください。



- これで連携作業は完了です!
- サンプルコードを書いて実際にmBaaSを使ってみましょう

### サンプルコードの実装

#### Android Studio

• 最初に、ファイルの先頭に利用するライブラリを追記します

```
import com.nifty.cloud.mb.core.NCMB;
import com.nifty.cloud.mb.core.NCMBException;
import com.nifty.cloud.mb.core.NCMBObject;
```

- MainActivity.java の onCreate メソッド内に書いた処理は、アプリの起動時に実行されます
- APIキーの設定とSDK初期化コードの下にサンプルコードを書くと、 すぐに動作確認が可能です

```
@Override
protected void onCreate(Bundle savedInstanceState) {
    super.onCreate(savedInstanceState);
    // APIキーの設定とSDK初期化
    NCMB.initialize(this.getApplicationContext(), "APP_KEY", "CLIENT_KEY");
    // ↓ ここにサンプルコードを実装 ↓
    setContentView(R.layout.activity_main);
}
```

#### サンプルコード (データストア)

 次のコードはmBaaSのデータストアに保存先の「TestClass」という クラスを作成し、「message」というフィールドへ「Hello, NCMB!」というメッセージ(文字列)を保存するものです。

```
// クラスのNCMBObjectを作成
NCMBObject obj = new NCMBObject("TestClass");

// オブジェクトの値を設定
obj.put("message", "Hello, NCMB!");

// データストアへの登録
obj.saveInBackground(new DoneCallback() {
    @Override
    public void done(NCMBException e) {
        if(e != null){
            //保存に失敗した場合の処理
        }
        else {
            //保存に成功した場合の処理
        }
    }
});
```

## アプリを実行してmBaaSのダッシュボードを確 認する

• アプリを実機またはシミュレーターで実行します

#### mBaaS ダッシュボード

アプリが起動されたら、mBaaSのダッシュボードで「データスト ア」から、データが保存されていることを確認できます

